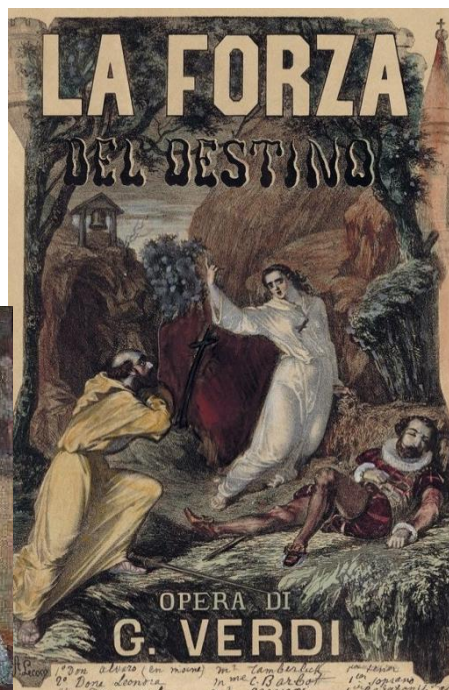
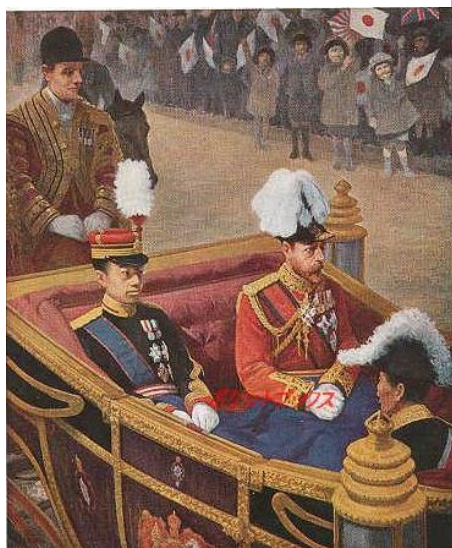


国際シンポジウム

日本とイタリアにおける国民形成 (1848 - 1948 年)

日時：2018年3月14日 14:00-17:00

場所：京都産業大学 11号館 11304 教室



プログラム:

報告

- 1, 宮川康子 (京都産業大学)
「ネーションによる歴史の専有：日本における歴史叙述の問題」
- 2, 倉科岳志 (京都産業大学)
「史家としての松本清張：二・二六事件の意義について」
- 3, マルコ・メリッジ (ナポリ・フェデリーコ2世大学)
「リソルジメント再考：1860-2015年におけるイタリアの国民形成に関する史学史」
- 4, マウリツィオ・グリッフォ (ナポリ・フェデリーコ2世大学)
「アドルフォ・オモデーオ：第一次世界大戦とリソルジメント」

ディスカッション

***入場無料・使用言語英語**

文化学部生以外の聴講可 (予約不要)

***本企画は国際シンポジウム等開催支援制度の助成を受けています**